

一、十月五日午後三時 同人社内にて復讐社員の父親、十数名の争論、團員
の数名を獲束する。

一、十七日白鳩村に於て復讐社員の父親、十数名の争論、團員
に取巻かれ政打せらる。

一、十七日午後九時頃 秋首の神社境内にて約二百名集り
合し、不逞の形勢ありしを以て解散を命じ、二十九名獲
束する。

一、日本主義の農民同志會には十一月十七日 再びに二回り書
夜ライカの録して巨冊大演説會を開演し、日本国民
の目覚めを大に勵を促し且つ驚激なる非國民的思
想の排斥を高唱、自ら身を以て奮起し、赤十字の共鳴を
得、從者ありしに加 増せらるる者 彌多し。

一、争論團の結束、調子となり、幹部の息と慮と甚だ
しし不安を感ずるが故に、調停者出現の声を大にし、^議團員
の引留め策も、ある由なるが、今後は、争論團とは
絶對交渉せざ。

△出勤職工数約百三十名

千

△復讐職工の状況

復讐 職工代表 二十名は日本皇太后御慶賀 團 脱退 職工
を佐り、争論會に誌同と題する、いづれを争論團とせんかの
者、四五名の自働車にて、争論方面に撤布あり。

△廿二名 浪安 協賛 争論法士連 及び 浪安 職事員 送らる